

チェコ経済月次報告（6月）

主な動き：

- 6月13日・チェコ警察、チェコ軍向けスペイン製CASA機購入を巡り、バルカーノ元国防相（現下院副議長、与党TOP09）の免責特権剥奪を要請。
（→7月11日、チェコ下院、同特権剥奪を決める。）
- 26日・2013年予算案、閣議決定。財政赤字1000億CZK、GDP比2.9%と設定。
- 27日・クラウス大統領、予算削減に反対したホスピーシル法務大臣を解任。（→7月3日ブラジュク新法務大臣（与党ODS副議長）を任命）
- 28日・チェコ中央銀行、政策金利（2週間レポ）引下げ（0.75%→0.5%）。
- 29日・ネチャス首相、EU首脳会議の結果について、措置は現実経済には限定的なインパクト、政治的な妥協の産物と語る。
- 7月2日・ネチャス首相、2016年財政赤字脱却の目標達成困難と語る。
- 4日・欧州議会、模倣品・海賊版拡散防止条約（ACTA）を否決
（チェコ政府は1月調印済みであったが、手続きを差し止めていた。）
- 16日・2013年予算、下院通過。

経済動向：

- （1）チェコ経済は、ユーロ債務危機の影響等から足踏み状態。
GDP、鉱工業生産、小売業売上高は、2011年上半期以降減速。
- （2）雇用は、8%台の失業率高止まり。物価は、3%台で推移。
- （3）チェコ・コルナは、対ユーロ、対ドルで減価。
金利（10年物国債）は2%台後半で推移。

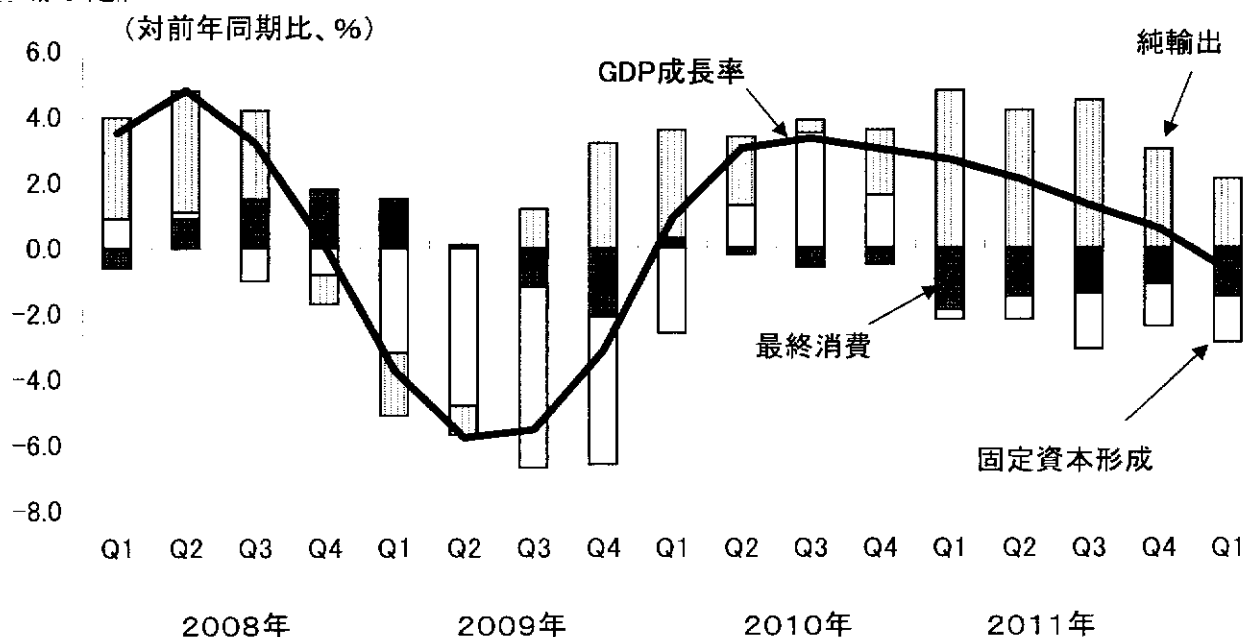
コラム：

○ 欧州債務危機に関するEUとの関係

注：本報告は、チェコ政府発表資料、新聞等報道資料をとりまとめたもの。

1. GDP

2011年第4四半期の成長率は、対前年同期比0.6%増に鈍化した後、2012年第1四半期は同▲0.7%減となった。寄与度をみると、最終消費支出、固定資本形成（内需）のマイナス幅が拡大する一方で、純輸出（外需）の寄与が低いものに留まったため、成長率もマイナスとなった。

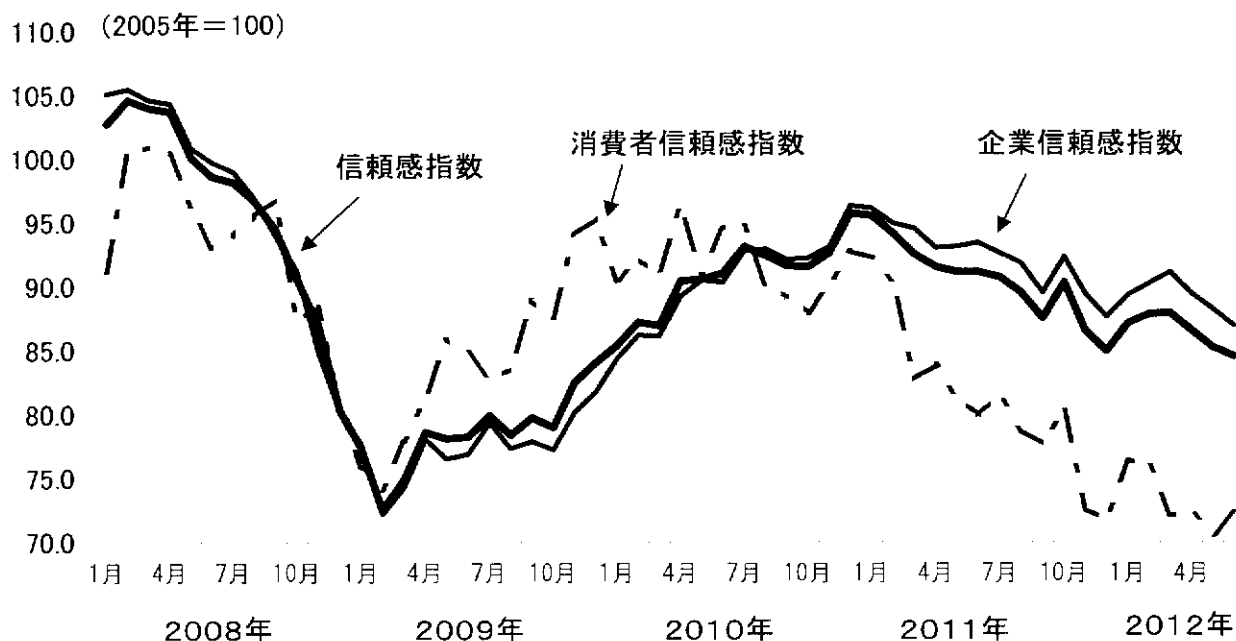


	2009年	2010年	2011年*	2011年 Q1	Q2	Q3	Q4*	2012年 Q1*
GDP成長率(%)	▲4.7	2.7	1.7	2.8	2.1	1.3	0.6	▲0.7

注：2011年第4四半期、12年第1四半期の数値は、ともに速報値。

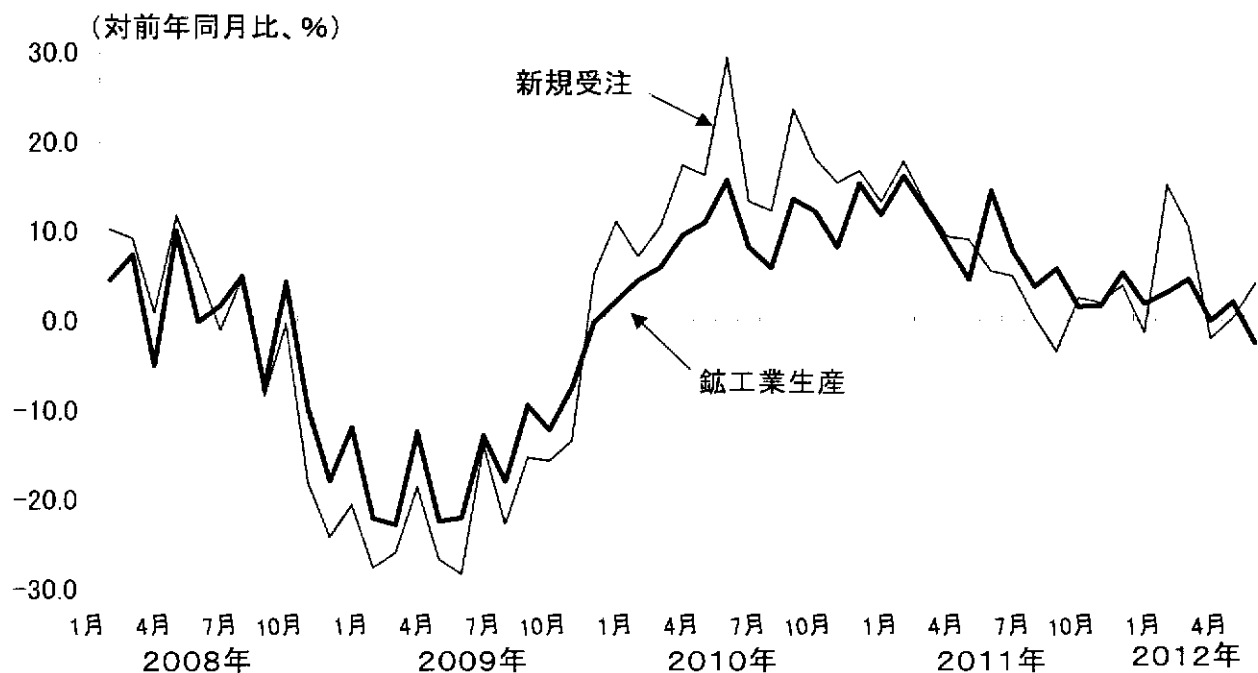
2. 景況感

信頼感指数（総合C I、2005年＝100）は、5月85.3の後、6月84.6となっている。企業信頼感指数は、5月88.3の後、6月87.0。消費者信頼感指数は、5月70.6の後、6月72.3となっている。



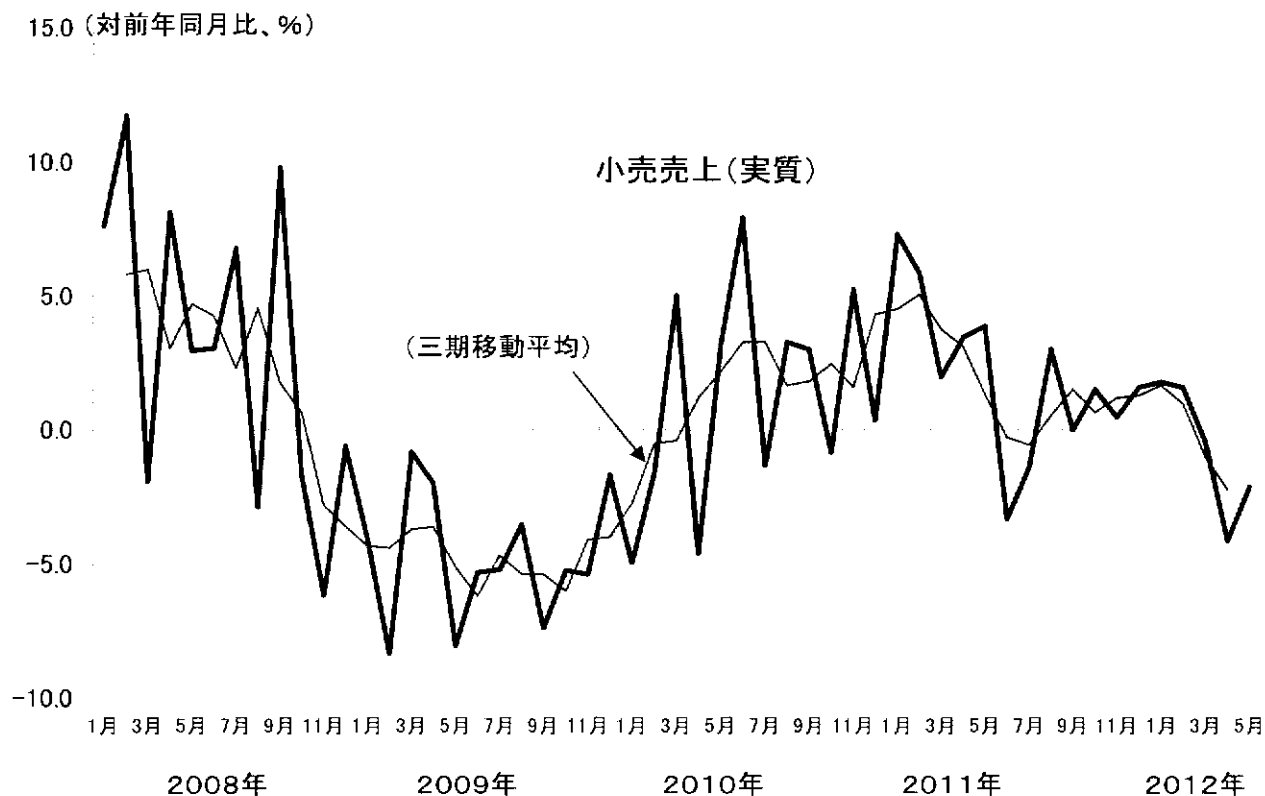
3. 生産

鋳工業生産は、4月是对前年同月比2.2%増となった後、5月同▲2.4%減となった。新規受注は、4月対前年同月比0.4%増の後、5月同4.2%増となった。



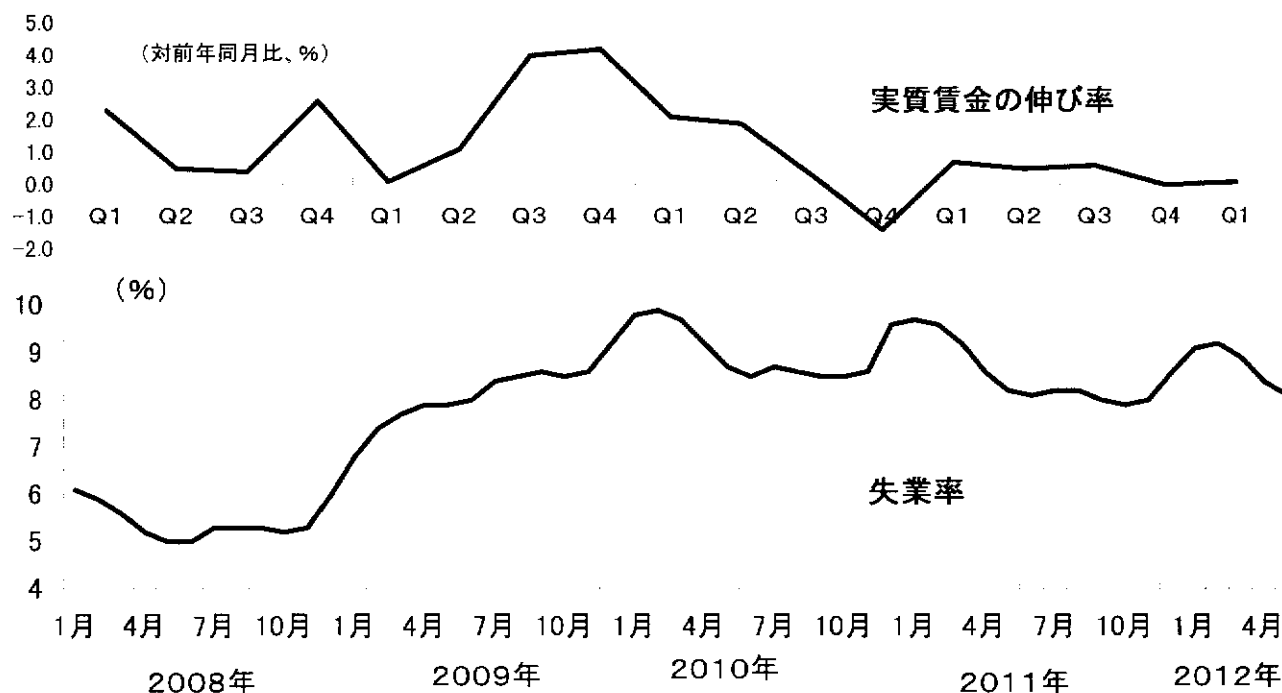
4. 消費

小売売上高（実質）は、4月対前年同月比▲4.1%減の後、5月同▲2.1%と、3月以降前年比マイナスが続いている。



5. 雇用

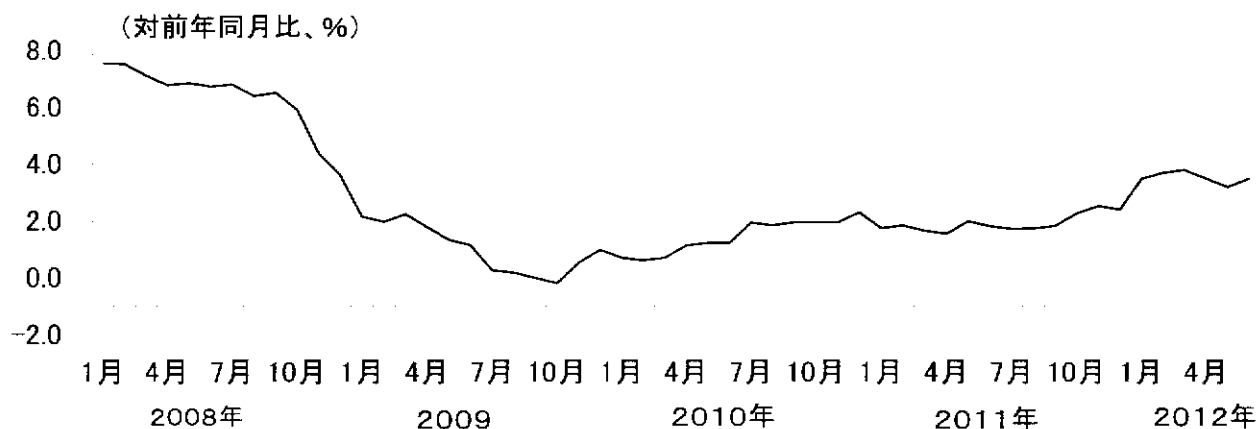
- (1) 賃金（実質）は、2011年第4四半期に対前年同期比0.0%となった後、2012年第1四半期同▲0.1%減となった。なお、2012年第1四半期の賃金（月額、名目）は、24,126コルナとなった。
- (2) 失業率（登録ベース）は、5月8.2%の後、6月8.1%と高止まりしている。なお、ILO基準では4月6.6%の後、5月6.5%となった。



	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年 3月	4月	5月	6月
失業率 (登録ベース、%)	5.4	8.1	9.0	8.5	8.9	8.4	8.2	8.1

6. 物価

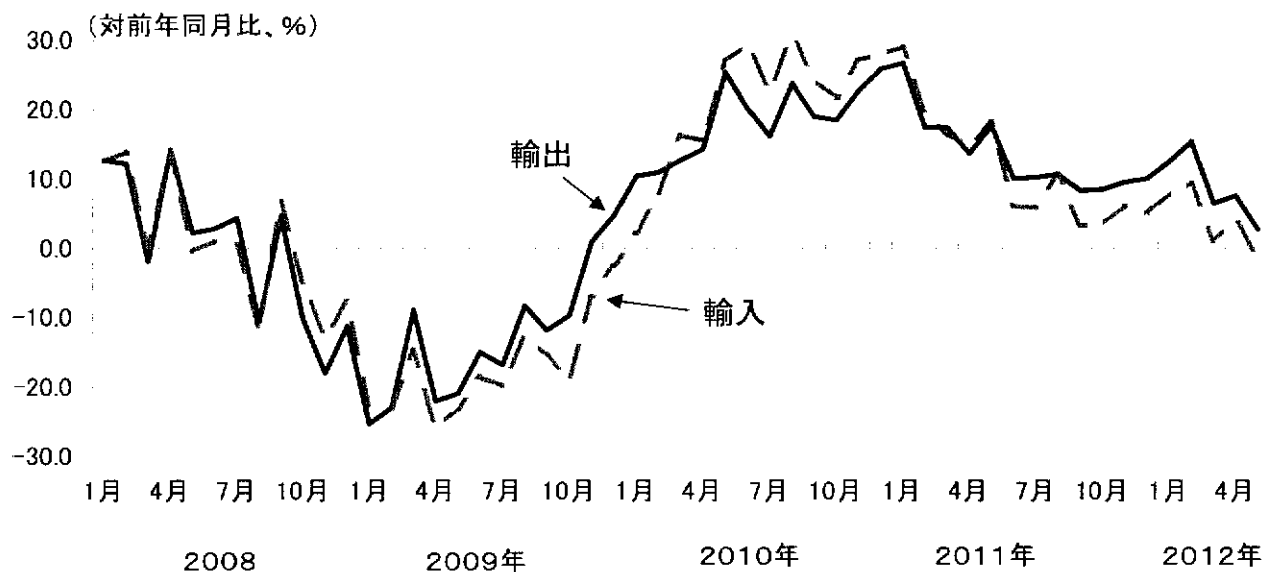
消費者物価は、1月からのVAT増税等により上昇、5月是对前年同月比3.2%増となった後、6月同3.5%増となった。



	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年 3月	4月	5月	6月
物価上昇率(%)	6.4	1.1	1.4	1.9	3.8	3.5	3.2	3.5

7. 貿易（通関ベース）

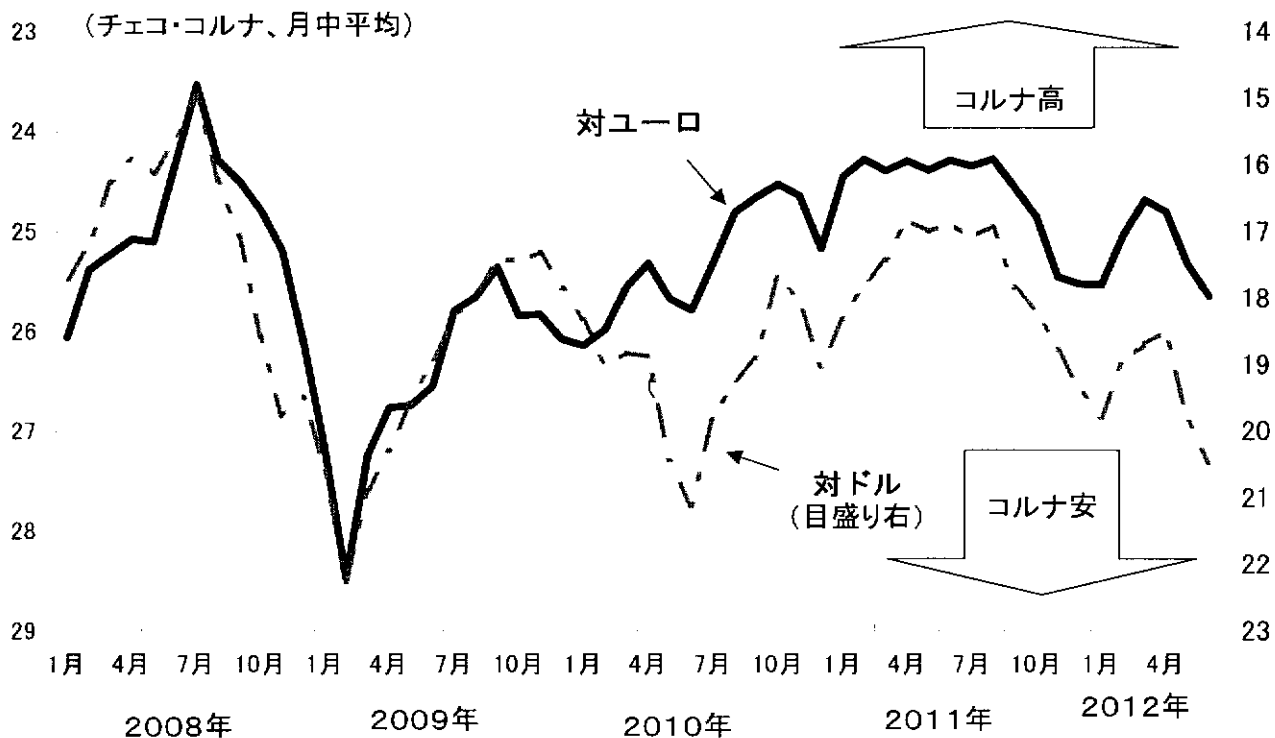
輸出(FOB)は、4月対前年同期比7.7%増となった後、5月同2.8%増となった。輸入(CIF)は4月同4.1%増の後、5月同▲1.1%減となった。



8. 為替・金利

(1) 為替

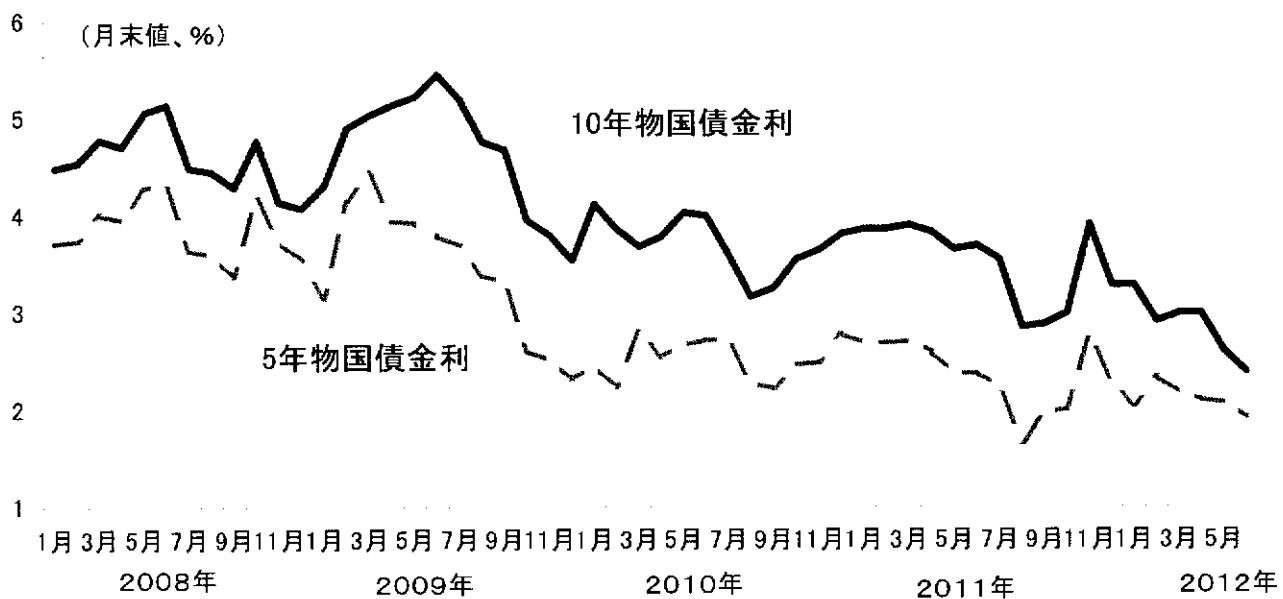
チェコ・コルナは、対ユーロ、対ドルで減価し、6月末値は、対ユーロ25.64コルナ、対ドルでは20.36コルナとなった。



	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年 3月	4月	5月	6月
対ユーロ(平均)	24.96	26.45	25.29	24.59	24.68	24.80	25.32	25.64
対ドル(平均)	17.06	19.06	19.11	17.69	18.69	18.49	19.82	20.47

(2) 国債金利

10年物（長期）は、6月末2.39%。5年物は、6月1.91%となった。



コラム：欧州債務危機に関するEUとの関係

（経過）

- ・2004年、チェコはEUに加盟。08年当時、ユーロ導入を12年とする議論があったが、その後、リーマン・ショックを発端とする世界金融危機によるチェコ経済の停滞等から財政赤字の収斂などの条件が整わないものとなった。
- ・その後、チェコは緊縮財政を継続するものの、続く欧州債務危機の深刻化により、11年3月に実施されたユーロ導入の世論調査では、7割以上が反対、加えて、EU域内の負債国に対する融資にも反対の意見が多かった。（11年4月3日付CTK通信）
- ・12年1月、欧州危機に関連してIMFへ380億CZKの出資を行ったが、3月には英国とともに財政協定に署名を行わなかった。

（EUとの関係）

チェコの主なメリット	チェコの主なデメリット
・EU加盟国として、域内の自由貿易を享受。 ・EU補助金（欧州地域開発基金、欧州社会基金、結束基金）の受領（*2007-13年予算ではチェコへ266億ユーロ計上。） ・EFSM（欧州金融安定メカニズム）の活用可能	・EUへ拠出 *2010年実績では、323億CZKの拠出に対し、850億CZKの補助金受領となっていた。 ・EFSMへの出資
2012年3月、財政協定に署名せず。 ・ユーロ参加国政府の保証を裏付けとする欧州金融安定基金（EFF）、その後継となる欧州安定メカニズム（ESM）へ参加せず。	

（現状）

- ・チェコはEU加盟国として、貿易、補助金等のEU統合の恩恵を享受する一方で、非ユーロ圏であることや財政協定に参加しなかったことから欧州債務危機に対する負担（欧州安定メカニズム（ESM）等への参加）から距離をおき、欧州債務危機に対する立場について他のEU加盟国（特にユーロ圏諸国）と一線を画している。

(参考) 主な機関のチェコ経済見通し

機 関 (公表時期)	2011年実績値	チェコ中央銀行 (2012年5月)		チェコ財務省 (2012年4月)		OECD (2012年5月)		IMF (2012年4月)	
		2012年	2013年	2012年	2013年	2012年	2013年	2012年	2013年
実質GDP (%)	1.7	0.0	1.9	0.2	1.3	▲0.5	1.7	0.1	2.1
インフレ率 (%)	1.9	3.2	1.5	3.3	2.3	3.9	2.1	3.5	1.9
失業率 (%) *	6.8	8.8	6.8	7.0	7.2	7.0	6.9	7.0	7.4
財政収支 (GDP比、%)	▲3.9	▲3.4	▲3.8	▲3.8	-	▲2.5	▲2.2	▲3.5	▲3.4
累積債務 (GDP比、%)	40.9	43.0	45.4	43.1	-	50.7	52.8	-	-
貿易収支 (GDP比、%)	5.0	2.3	2.7	5.0	5.3	-	-	-	-
経常収支 (GDP比、%)	▲2.9	▲2.8	▲2.4	▲2.4	▲2.3	▲0.2	▲1.6	▲2.1	▲1.9
為替レート (CZK/EUR)	24.59	24.7	24.3	25.1	24.9	-	-	-	-

注：失業率はILO基準。